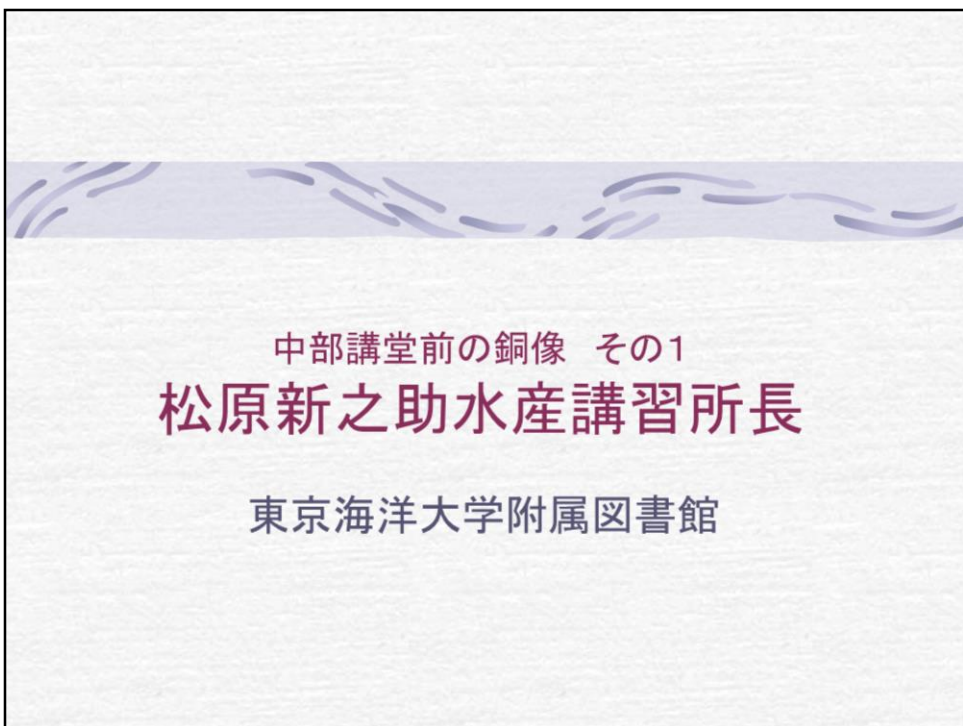




中部講堂前の銅像 その1

松原新之助水産講習所長

東京海洋大学附属図書館

中部講堂前の松原新之助銅像



海洋大における魚類分類学の系譜



- 内村鑑三
- 寺尾新
- 松原喜代松
- 久保伊津男
- 高木和徳
- 石山禮蔵
- 多紀保彦



松原新之助 1880「魚類目録」(本文はドイツ語)日本人の手による「魚類学」の嚆矢
内村鑑三 1884「日本魚類目録」
河野博 東京海洋大学と魚類分類学 天皇陛下の魚類学ご研究展示目録 2009

業績

- 日本人による初めてのラテン語学名を付した「日本産魚類目録」作成。(本文独語)
- 初めて全国的な水産の学術調査実施。
- 水産教育に多大な貢献。水産講習所の初代専任所長。



人柄の特徴

- 先見性
- 実行力
- 粘り強さ
- 志の高さ



生い立ち



- 1853 松江藩士松原友益の子として出生
- 7才 藩校明教館入学。本草学への興味。
- 12才 四書の試験に合格
- 13才 五経の試験に合格。
- 17才 選抜されて学寮に入り、漢学を修めた。
- 18才 藩命で東京に遊学。東京医学校入学。
(後の東京大学医学部)当時、生物学の専門課程がなかったため、医科を選んだ。

松原新之助先生略伝 水産研究誌 11(3) t 5 1916 P660/73

東京水産大学七十年史 東京水産大学創立七十周年記念会, 1961 092/1

ドイツ語を選択(18才)

- 洋学を学ぶ者の多くが、オランダ語、英語、フランス語を学ぶ中で、ドイツが学術研究が進んでいるからと、ドイツ語を選択。
- ドイツ人から学んだ。
- ドイツ語を選択したことが松原が世に出るきっかけとなった。



松原新之助先生略伝 水産研究誌 11(3) t 5 1916 P660/73

ヒルゲンドルフとの出会い(20才)

- ドイツから招かれた生物学者ヒルゲンドルフの通訳をしながら生物学を学んだ。
- ドイツ語に堪能だったためヒルゲンドルフと寝食を共にし研究から生活までを助けた。
- 当時、生物・水産に関してはドイツ語の和訳語がなく苦心して訳語を作った。



松原新之助 1915 ヒルゲンドルフ先生 動物学雑誌 27 4490—450

朴澤三二 1915 フランツ・ヒルゲンドルフ 動物学雑誌 27 前17—20

松原新之助先生略伝 水産研究誌 11(3) t 5 1916 P660/73

松原新之助の講義録(25才)

- 講筵筆記薬用動物篇 2巻
- 東京大学医学部助教時代の授業の講筵筆記。



- ・講筵筆記薬用動物篇 2巻 / 松原新之助講義 ; 安本徳寛筆記 ; 卷之上, 卷之下.

英蘭堂島邨利助(発売), 1878. 491.9/Ma73/別置図書 明治14(1881)年からの東京大学医学部助教授の授業の講筵筆記である。本書と同時期に講筵筆記薬用植物篇も出版されている。

ベルリンへの出張(26~28才)



- 生涯の仕事の基盤となった。
- ヒルゲンドルフにより多くの著名な学者に紹介。
- ベルリン大学で生物学研究。
- 世界の新知識を吸収する絶好のチャンス。
- 帰途、英・仏・伊・スイス・ベルギーを訪れ各国の水産事情を視察。
- ベルリン滞在中の村田保と帰国後は日本の水産振興に尽力することで意見が一致し、後にこの会談が水産講習所設立の重要な布石となる。

海老名謙一 水産講習所長物語 1-10 楽水 693-703 1956-1958
松原新之助先生略伝 水産研究誌 11(3) t 5 1916 P660/73

ベルリン万国漁業博覧会準備

－水産に関する初めての万国博覧会－

- 初めての外国、初めて参加する国際行事という困難の中で、多数の展示品を選定、欧文解説作成、標本整理、好適な陳列、外国との折衝、会計事務ほか。



海老名謙一 水産講習所長物語 1-10 楽水 693-703 1956-1958

ベルリン万国水産博覧会出品の 魚類目録 (27才)

- Hilgendorf and Matzubara, 1880,
Catalog der Japanischen Abtheilung der
internationalen Fischerei-Ausstellung zu
Berlin. (日本産魚類目録)
- 日本人が初めてラテン語の学名を付して
紹介した魚類目録。



日本の魚学・水産学事始め：フランツ・ヒルゲンドルフ展 / ヒルゲンドルフ展企画実行委員会編.

ヒルゲンドルフ展企画実行委員会, 1997 487.5/H58

ベルリン 万国漁業博覧会 (27才)

— 水産に関する初めての万国博覧会 —

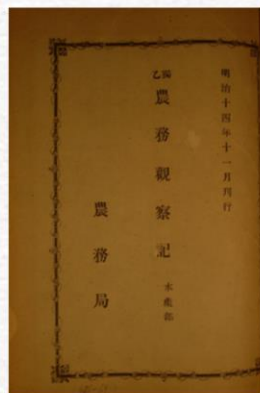
- 水産に関する各国の学術研究・調査・機械の先進的なことに感嘆。
- 一番の収穫は各国出品者による座談会。会期中、毎夜のように各国専門家が集まってそれぞれの項目について説明討論があり、短期間に各国の実情を知ることができ得難いチャンス。
- 審査の結果、金牌受賞の栄誉。



松原新之助 我水産博覧会ニ先テ伯林漁業博覧会ノ実況ヲ述フ 大日本水産会報告12号 (M16) 1883

獨乙農務觀察記(28才)

- ドイツ出張の復命書である。水産部、農學部、農務省處務部の3分冊で刊行された。
- 本書には水産保護、水産法規、養殖、水産協会、水産學術調査等が記載され、大日本水産会の結成に影響を与えた。



獨乙農務觀察記. 上. -- 農務局, 1881 貴重書庫 004/H11/A635/羽原文庫

先見性(31才)



- 水産業の変遷を4期にわけて予見
豊富な水産資源→乱獲→制限→養殖
「今後は欧米の資料を参考にしながら、漁業の適否、蕃殖保護の方法、高級に化製する技術等を、科学的に開発していかなばならない。その時期が近い将来必ずやってくる。」
- 水産資源は減少するから保護育成の対策が必要である。
- 「我が国水産の現況と将来」明治17年大日本水産会年次大会で講演。(大日本水産会報32)

水産伝習所創立準備(35才)

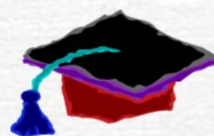
- 関沢明清らと準備を進め、水産伝習所創立趣意書作成。
- 水産伝習所創立委員・講師を委嘱される。



東京水産大学百年史 / 東京水産大学百年史編集委員会編.
通史編, 資料編. -- 東京水産大学, 1989.

水産伝習所創立 (35才)

- 所長の関沢明清ほか岡村金太郎、内村鑑三、佐々木忠次郎、伊谷以知二郎ほかそうそうたる顔ぶれ。
- 松原新之助は魚類学、養殖担当の教師。



東京水産大学百年史 / 東京水産大学百年史編集委員会編.
通史編, 資料編. -- 東京水産大学, 1989.

水産調査豫察報告(36~40才)



- 明治21年、かねての念願だった全国の水産調査を水産局長に提言して受け入れられ、全国を五海区に分け調査した。
- まず予備調査を行った後に本調査。
- 松原は3年にわたり沖縄・瀬戸内海・東北を調査主任として調査した。
- 松原氏の事業としては其功績の大なるは水産教育にあるは何人も否認せざる所なるべきも其心力を傾注したるは蓋し水産調査にあったであろう。(下啓助「明治大正水産回顧録」)

明治大正水産回顧録 / 下啓助著. 東京水産新聞社, 1932 660.2/Sh51

水産調査豫察報告 / 農商務省水産局. -- 1 - 4 卷. -- 農商務省水産局, 1889-1893.

水産調査予察報告の写真



- 沖縄の巻ではジュゴンが報告されている。

突然の水産局廃止・非職(38才)

- 緊縮方針による行政整理で水産局廃止。
- 非職(地位はそのまま職務を免ぜられる)の辞令。
- 「わが学術の尚浅薄にして、人をしてこれを信ぜしむる能わざるか、天未だ、この事業をして成立せしめざるか」

東京水産大学百年史 / 東京水産大学百年史編集委員会編. 通史編, 資料編. -- 東京水産大学, 1989.

海老名謙一 水産講習所長物語 1-10 楽水 693-703 1956-1958

松原夫人の貝類産卵期調査(38才)

- 1891年5月から11月まで東京市場で入手可能な10種類弱の貝類を顕微鏡で観察し日誌を記録。
- 「大日本水産会報告」119号に掲載。同じ号に松原新之助による別の記事もあり。



松原孝子 介類産卵期調 大日本水産会報119-175 1892 P660/72

松原新之助 新潟県ノ水産ニ就テ 大日本水産会報119 M25 1892 P660/72

北越河漁調査報告(39才)

- 新潟県漁業連合会の依頼を受けて、松原新之助が明治24年10月28日から11月25日までに新潟県内の河川を調査した記録。
- 魚種の減耗に対する策として、密漁の禁止、育てやすい欧米の良種を移入し、人工孵化を進めることなどをあげている。
- 阿賀川(現在の阿賀野川)において、鉱山の出す廃水が魚類に悪影響を与えていることも既に指摘している。

北越河漁調査報告 / 松原新之助編. -- 松原新之助, 1892.

新潟県内の河川の魚種減耗を懸念した、新潟県漁業連合会の依頼を受けて、松原新之助が明治24年10月28日から11月25日までに新潟県内の河川を調査した記録。魚種の減耗に対する策として、密漁の禁止、育てやすい欧米の良種を移入し、人工孵化を進めることなどをあげている。また、阿賀川(現在の阿賀野川)において、鉱山の出す廃水が魚類に悪影響を与えていることも既に指摘している。

再び多忙なスケジュール(42才頃～)

- ベルリン万国漁業博覧会を始め内外の博覧会の審査員、大日本水産会の仕事、水産調査、水産教育関連の仕事など、多い年には1年で11枚もの辞令・勲賞を内閣・農商務省・博覧会事務局・宮内省・文部省・賞勲局などから受けている。



松原前水産講習所長銅像除幕式 水産研究誌 7(4) 135 1912

日本水産史(47才)

- 農商務省水産局, 1900.
- 明治33年(1900年)パリ万国大博覧会出品のための仏訳本(Histoire de l'industrie de la pêche maritime et fluviale au Japon)の原稿。



日本水産史. 農商務省水産局, 1900. 明治33年(1900年)パリ万国大博覧会出品のための仏訳本(Histoire de l'industrie de la pêche maritime et fluviale au Japon)の原稿 図書館 660.2/N77

露国万国水産博覧会(48才)

- 松原新之助は2度、日本紹介の演説。
- 日本から出品したものは精巧な釣竿、かまぼこ、寒天、フノリなどが好評。
- 水産講習所も水産に関する高等教育機関として注目された。
- 水産に於ける世界の関心事は、プランクトンの研究、遠洋漁業、養殖の3つである。

万国水産博覧会と欧米水産の趨勢 大日本水産会報241-1 1899

露國聖彼得堡府萬國漁業博覽會報告 ロコク

セント ペテルブルグフ バンコク ギョギョウ ハクランカイ ホウコク (50才)

- 明治34年の万国漁業博覧会の各国の出品の詳細な報告。各国の水産業の状況を図版とともに報告している。



露國聖彼得堡府萬國漁業博覽會報告 / [松原新之助著].

農商務省水産局, 1903.

明治34(1901)年にロシアのセントペテルスブルクで万国漁業博覧会が開かれ、委員として出張、その時開かれた万国漁業会議にも出席した。本書は万国漁業博覧会の各国の出品の詳細な報告であり、併せて各国の水産業の状況を図版とともに報告している。660.5/N97 (ロコク セントピーターズブルク)

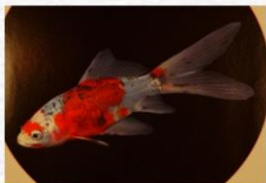
水産講習所初代専任所長就任 (50才)

- 松原所長の時代に設備・教育充実。
- 深川区冬木町養魚場の増設移管。
- 小田原実習場、高島実験場新設。
- 快鷹丸、雲鷹丸建造。
- 冷蔵庫設置。図書標本室新設。
- スタッフ倍増。海外研修生派遣。



東京水産大学百年史 / 東京水産大学百年史編集委員会編. 通史編, 資料編. -- 東京水産大学, 1989. 092/To46

金魚の命名(56才)



朱文金



秋 錦



金蘭子(きんらんし)



秋翠 (鯉)

錦鱗会ニ於ケル松原水産講習所長ノ演説 水産研究誌 4-188 M42 1909
P660/74

雲鷹丸最初の航海出帆に当たり訓示(56才)

- 水産調査船として科学上の貢献を為さんことを期し、他方に於ては事業に関し世界的の人物を作るを以て目的とす。
- 完全なる設備を以て完全なる人物を作るを大方針とす。
- 学生として且つ紳士としての体面は終局まで之を保持せらるべきは言を俟たず。

雲鷹丸が最初の実習航海に出帆するにあたり、水産講習所の松原所長が乗船教官と

学生におこなった以下の訓示は、科学に貢献し世界の人材となることをめざして勉強し

実行することを説いており、100年後の現在読んでも新鮮です。

本船は単に実習船をして漁業の練習を為すを以て其の目的と為すものにあらず。一方に於ては水

産調査船として科学上の貢献を為さんことを期し、他方に於ては事業に関し世界的の人物を作る

を以て目的とす。(中略)本船に対し実習船としては贅沢に失すとの世評あり、弁ずるに足らざ

ることながら一応誤解を防ぐ為に本所の主義を述べべし。本所は従来経費の許す限り凡ての方面

に於て完備を期し、完全なる設備を以て完全なる人物を作るを大方針とす。蓋し完全に養成せら

れたる人物にして始て不十分なる境遇に立ち錯誤なきことを得ればなり。諸君も此の意を体し充

分に設備を利用せられたし。(中略)学生として且つ紳士としての体面は終局まで之を保持せら

るべきは言を俟たず。(後略)(大日本水産会報 323号 1909:9-10より。)

日本重要水産動植物図(57才)



- 農商務省が明治22年にフランスで開催された博覧会に国内水産動植物159種を選んで石版で印刷し出品したものを元に種類を加え出版したもの。
- 解説は松原新之助が分担している。

日本重要水産動植物図 / 大日本水産會編. --図版,解説. -- 嵩山房, 1910. 本書は農商務省が明治22年にフランスで開催された博覧会に国内水産動植物159種を選んで石版で印刷し出品したものを元に種類を加え出版したもの。解説は松原新之助が分担している。

水産講習所長退職(58才)

- 学内人事が紛糾し、所長として引責辞任。
- 辞任の挨拶

「諸君予は今回計らずも本所を去り諸君と分ることとなりたるを以て茲に告別の一言を致さんと存ず(中略)然るに突然今日あるは予の一大挫折と言わざる可らず世事蹉跎し易し早晩此事あるを期さざるには非ざれども其余りに早きに過ぎて夭折したるが如きは復た遺憾なき能はざるなり。」

蹉跎(さた) つまづき

東京水産大学百年史 / 東京水産大学百年史編集委員会編. 通史編, 資料編. -- 東京水産大学, 1989. 092/To46

日本鮭鱒養殖誌(59才)

- 明治44年ローマで行われた万国博覧会の際、松原新之助が発表したドイツ語の論文を日本語に訳したもの。
- 鮭鱒養殖の沿革、鮭鱒の経済的価値、鮭鱒養殖の現状について述べており、これからますます発展させて行くべき事業だと結論づけている。



日本鮭鱒養殖誌 / 松原新之助著. -- 農商務省水産講習所, 1912. 明治44年ローマで行われた万国博覧会の際、松原新之助が発表したドイツ語の論文を日本語に訳したもの。同じものを国会図書館の近代デジタルライブラリーでも見ることができる。鮭鱒養殖の沿革、鮭鱒の経済的価値、鮭鱒養殖の現状について述べており、これからますます発展させて行くべき事業だと結論づけている。 663.6/Ma73/別置図書

銅像建設(59才)



- 銅像建設については広く世間に募集したわけではないのに、計画を伝え聞いた全国の700人あまりから続々と寄付が集まり、予定額の2倍の2,000円以上に達した。
- 除幕式には約300人が参列し祝った。
- 松原新之助は挨拶で自発的に多くの人が寄付に賛同したことに「殊に有り難くまた、愉快に思います」と述べ感謝している。

「私がここに殊に有り難く、又愉快に思いますのはこの銅像建設につきまして旧水産伝習所及び本所の出身者諸君が主としてこの挙に興かれて、それに他の方々は、偶この企てのあるということをきいて好意から加わって下されたということで偶然、私の心持と一致したことであります。世の中にはこういうことに無理にすすめられ、義理にからまれて嫌々ながら応ずるという例もあるそうで、もしそうであるとすると、うけた方もあまりよい心持はせぬものであらうと思うからであります。

松原前水産講習所長銅

像除幕式 水産研究誌 7(4) 135 1912

銅像の運命



- 明治45年3/22 銅像建設
- 大正12年 関東大震災で火災により校舎全滅。銅像は台座が崩壊したが像は無事。
- 戦時中、供出指令を受けたが、替わりの金属を供出し難を逃れた。
- 昭和20年 校舎占領軍により接收。
- 昭和22年 久里浜へ移転。
- 昭和25年 久里浜校舎接收。バラックへ移動。
- 昭和29年 品川校舎開講。

東京水産大学七十年史. 東京水産大学創立七十周年記念会, 1961 092/1

東京水産大学百年史 / 東京水産大学百年史編集委員会編. 通史編, 資料編. -- 東京水産大学, 1989. 092/To46

逝去 (63才)



- 大正5年 急性肺炎。
- 同2月14日逝去。
- 2月18日小石川傳通院にて告別式。800名もの会葬者による盛大な葬儀が行われ、上野谷中天王寺墓地に埋葬された。

松原先生の葬儀 水産研究誌 11(3) 1916

温厚な人柄 趣味

- 温厚な人柄
- 根気強い仕事の進め方
- 簡素で物にこだわらない日常生活
- 茶の湯、插花、料理が趣味。
茶室を郷里より原宿の自宅に移設。
- 漢詩、書も巧み。



逝ける松原氏 水産界 35(402) p.53(261) 1916(大正5)
妹尾秀実 1916 松原翁の事ども 動物学雑誌 28 7-8

水産者終生務

- 妹尾秀実(水産講習所教授)が学生の頃、水産を「レーベンス・アルバイト」としてやる事を松原新之助所長に答えたことがあった。数年後、機会があつて書を書いてもらった時にすらすらとこの書を書いてくれた。数年前に話したことをちゃんと覚えていてくれたと感激した。
- 数年前、妹尾家より譲り受け図書館所蔵。

妹尾秀実 1916 故松原翁の事ども 動物学雑誌 28 7-8



ご清聴ありがとうございました。

